

# 農薬事故防止対策を GAP の視点から学ぼう！

～令和6年度 GAP 推進産地に係る研修会を開催しました～

山武農業事務所改良普及課 令和6年8月21日発

JA山武郡市第一集出荷センター施設部会は、「令和6年度GAP推進産地」に選定されています。このたび、GAPの視点から農薬事故防止対策を学ぶ研修会を開催しました。

座学では、GAPの概要や残留農薬事故の事例とその原因などについて学び、その後、農薬の適正管理や散布後の残液処理等に関する農場点検の実習を行いました。

講師は、自らも農業者として活躍する傍ら、全国でGAP指導に携わっています。農業者目線からの分かりやすい説明に、参加者は熱心に講師の話に耳を傾けていました。

講師からは、「GAPの取組によって『守備力』を高めてほしい。」と助言を頂きました。参加者からは、「GAPの取組が事故防止に繋がることがわかった。」、「できること（農薬保管庫の整理整頓など）から始めていきたい。」といった前向きな意見が上がりました。

農業事務所では、今後も生産者のGAPへの意識向上に向けた取組を支援します。



農薬事故防止対策の講習会



農場点検の実施